

## 新しい市役所のあり方と基本的な方向性（修正案）

<市役所のあり方>

<基本的な方向性>

### 1. 身近に感じる便利な市役所 (たらいまわしのない市役所)

1-1. 市民にとって親切でわかりやすい市役所

1-2. 市民の時間を大切に作る市役所

1-3. 市民から信頼される市役所

新しい市役所では、目的に応じてどこに行けばよいのかがすぐにわかる総合案内やサインの導入、市民の立場に立った窓口の配置、きめ細やかな相談体制の充実を通して、「親切で早く、わかりやすい」市民本位のサービスを実現します。さらに、職員一人ひとりの意識改革と正確かつ迅速な事務処理の徹底を図り、市民から信頼され、より身近に感じていただける市役所をめざします。

### 2. **すべての市民に**開かれた市役所 (垣根のない市役所)

2-1. 明るく入りやすい市役所

2-2. 情報交流の拠点となる市役所

2-3. 市民との協働を推進する市役所

新しい市役所では、明るく入りやすい、開かれた雰囲気づくりに取り組みます。例えば「“ふらっと”入りたくなるようなロビーがある」、「市政はもちろん地域のイベントや市民活動などの情報を気軽に得られるラウンジがある」そんな仕掛けを通して、より多くの市民から市政に関心を持っていただくのがねらいです。市民、議員、職員が気軽に情報を交換し、同じ目線でまちづくりを話し合う。そして、お互いの持ち味を生かして協働でまちづくりに取り組む。新しい市役所が活動・交流・連携の場となり、市民との協働を推進します。

### 3. 次世代に誇れる市役所 (市民のシンボル)

3-1. 合併10地域の顔となる市役所

3-2. 災害に対して安心・安全な市役所

3-3. **まちづくりをリードする**市役所

新しい市役所は、未曾有の災害を乗り越え、10地域が合併して大きく成長した新・長岡市民のシンボルです。このため、「日本一災害に強いまち」にふさわしい防災性、環境問題や高齢社会に対応し、かつ魅力的なまちづくりを積極的にリードする先進性、さらに、将来への負担や維持管理コストを最小限に抑える経済性を兼ね備えた、全国から注目される、次世代に誇れる市役所をめざします。